資料 2-2

但馬地域の現況と課題

現況

日常の移動
- 豊岡市を中心に隣接市への移動が多い
- 新温泉町では鳥取市への移動が多い
- 自家用車での移動が多く、公共交通利用は少ない

生活利便施設
- 生活利便施設はまちの中心部に集積
- 医療機関など、生活利便施設が少ない地域がある
- 生活利便施設を利用する際、市町間の移動を伴う地域がある

社会動向
- 但馬地域全体で人口減少・少子高齢化が進んでいる
- 中山間地域では高齢者数が減少している
- 自家用車での移動に依存している
- 市町の財政が悪化している

公共交通
- 利用者が少なく、運行本数も減少している
- 収支率が低く、行政・事業者の負担が大きくなっている
- 運転手の高齢化や人員が減少している
- 公共交通空白・不便地域がある
- 各市町ともスクールバス・福祉施策を実施している
- 地域主体型公共交通の導入等新たな取り組みを実施している

観光
- 公共交通を利用した周遊が少ない
- 観光施設が分散している

住民の意向
- （アンケート調査の結果を反映）

問題点

- 公共交通を利用した広域移動手段の不足
- 生活利便施設への移動手段の確保
- 生活利便施設を利用するためにまちの中心部への移動が必要
- 公共交通以外の輸送資源（スクールバス、福祉輸送等）の重複
- 年々増加する公共交通への市町の財政負担
- バリアフリー化の遅れ等から高齢者が公共交通を利用しづらい
- 乗継の悪さや待合環境が悪い交通拠点の存在
- 生活時間に合わせづらい
- 運転手や整備士等の高齢化・人員の減少、若者や女性の登用
- 車両の老朽化、利用実態に合っていない車両サイズ
- 高齢者の運転事故の増加、送迎の負担
- 公共交通に対する住民の関心が低い
- 移動に制約がかかると外出機会・交流機会が減少
- 公共交通と観光資源との連携が十分でない
- 単独では集客が見込めない施設が多い
- 将来にわたり、現状の公共交通サービスを維持していくことが困難
- 公共交通が無くなることの地域の危機感が低い

課題の設定

地域の移動環境の整備
- 市町を跨ぐ公共交通サービスの確保・改善
- 生活利便施設へのアクセス強化

地域の実状にあわせた交通網の再構築
- まちの中心部への移動手段の確保
- 多様な輸送資源（スクールバス、福祉輸送等）の活用・連携
- 市町の財政状況を踏まえた公的負担と利用者負担の検討

公共交通利用環境の維持・強化
- 車両や交通拠点におけるバリアフリー化の推進
- 交通拠点の利用環境改善
- 利用しやすいダイヤ設定とITを活用した公共交通サービスの推進
- 公共交通を維持するための人材確保・雇用促進
- 利用実態に合わせた車両サイズへの更新

公共交通利用意識の転換
- 自家用車から、公共交通利用への転換促進
- 公共交通に対する理解と意識の改善
- 公共交通を活用した交流機会・外出機会の促進

公共交通を活用した観光振興
- 観光施策と公共交通の連携
- 観光客のニーズに対応した公共交通サービスの提供と情報発信

住民・行政・交通事業者の協働による取り組み推進
- 公共交通の維持・存続や利用促進に取り組む地域や団体との連携
- 継続的に公共交通サービスを改善し運用していくための仕組みづくり
- 行政、交通事業者、住民など関係者の役割分担の明確化